



テ、ソレガ負債ニナルト云フコトヲ防止シ  
タイト考ヘテ居ルノデアリマス、肥料ノ掛  
買ニ依リマスルト、一割二分位ノ金利ヲ拂  
フノデアリマス、ソレヲ信用組合カラ借り  
マスト云フト、北海道、沖繩等ガ相當金利  
ガ高イノデアリマスガ、其他ノ地方ニ於キ  
マシテハ七分、八分内外、高クテ九分内外  
ノ金利デ十分農家ニ渡ルノデアリマスカラ、  
其方法ニ依リテ肥料ノ掛買ト云フコトヲ出  
來ルナラ全然廢止シテ、肥料商ノ方モ助カ  
リ、農家ノ方モ助カルト云フコトニ致シ  
トニナラ又ヤウニ極力努メタイト考ヘテ居  
ル次第デアリマス

○男爵平野長祥君 足立男爵ニ御

チヤウニ十分御研究御考慮アラレムコト  
ヲ望ムモノデアリマス  
○委員長(子爵野村益三君) 足立男爵ニ御  
諸リ致シマスガ、モウ宜シウゴザイマス  
カ…ソレハ大體論ニ御質疑ガナケレバ  
條文ノ方ニ移リタイト思ヒマス、第一章總  
則ヲ議題ニ致シマス

○男爵平野長祥君 チヨット伺ヒマスガ、只

今御宣告ニ依リマスト、一章ツツ御審議ニ  
ナリマスノデスカ

○委員長(子爵野村益三君) 成ルベク條文

ヲ逐フテ…左様ニ願ヒタイト思ヒマス

○菅原通敬君 是ハ第一條ハ農村負債整理

法ノ目的ヲ定メル爲デ、此處デ此負債整理

ナルモノノ根本觀念ガ定マルコトト思フ

ノデアリマスガ、少シク文字ノ疑義、ト

ト、政府ニ於カセラレテモ此肥料ニ對スル

問題ハ相等御研究、御考究ニナフテ居ラル

ルヤウニ伺ハレマスガ、全隣聯ノ配合肥料

ノ進出、其他種々團體等ニ助成ノ補助ヲ爲サ

ルト云フヤウナコトモオアリノヤウデモア

リマスガ、極ク所謂貧農ニナリマシテハ、

サウ云フ組合ニ入ルコトモ困難ナ狀態ニア

リマス現狀ト承知シテ居リマス、就キマシテ

ハベク此肥料國策、肥料政策ヲ早ク御立

テニナッテ此恩惠ヲ小農、所謂貧農ニマデ

及ブヤウニ十分御研究御考慮アラレムコト  
ヲ望ムモノデアリマス  
○男爵平野長祥君 足立男爵ニ御  
チヤウニ十分御研究御考慮アラレムコト  
ヲ望ムモノデアリマス  
○菅原通敬君 是ハ第一條ハ農村負債整理  
法ノ目的ヲ定メル爲デ、此處デ此負債整理  
ナルモノノ根本觀念ガ定マルコトト思フ  
ノデアリマスガ、少シク文字ノ疑義、ト  
云フヨリモ根本精神ノ方ニ關スル問題デ  
ゴザイマスカラ、或ハ大體論ノ所デ御尋  
ねシテ宜カット思ヒマスガ、個人ノ負  
債ニ對シテ國家ガ其尻拭ヒヲシテヤルノデ  
モ、斯様ナ立法ヲ爲スト云フコトニ付テ根  
本的ニサウ云フヤウナ色ミノ點ニ關シテ御  
研究ニナリ、又論議モ生ゼラレタ云フヤ  
ウナコトデモアリマスナラバ、ソレヲ伺ッテ  
置クコトガ宜カラウト思ヒマスカラ、其點  
ニ付テ御伺ヒ致シテ置キマス

○政府委員(小平權一君) 御尋ノ點ハ誠ニ

御尤ダト存ジマス、斯ウ云フコトガ當時行

ハレルト云フコトニナリマスト云フト、餘

程考ヘナケレバナラヌコトデアルト思フノ

デアリマス、此點ハ負債整理ヲ致シマス此

云フヤウナ議論ナドモ生ズルダラウト思フ  
ノデアリマスガ、是ハ非常立法デアルカラ  
ホ負債整理ノ問題ハ農林審議會ニ於キマシ  
テモ、此問題ガ出マシテ、關係方面ノソレ  
ソレノ其方面ノ堪能ノ方、又經濟關係方面  
ニ十分御關係ノ重要ナ地位ニ御在リノ方ノ  
御集リラ願ツテ十分慎重審議ヲ致シタノデ  
アリマシテ、兎ニ角現在ノ我國ノ農村ハ非  
常ナル不況ノ場合ニ際會イタシマシテ、又  
踏ムヤウナコトニナル虞レガアルノデアリ  
マスカラ、餘程其邊ニ付テハ深ク考慮ヲ拂フ  
テ行カナケレバナラヌモノダト思フノデア  
リマスグ、無論此法律ハ其點ニハ十分考慮  
ヲ逐フテ…左様ニ願ヒタイト思ヒマス

○菅原通敬君 是ハ第一條ハ農村負債整理

法ノ目的ヲ定メル爲デ、此處デ此負債整理

ナルモノノ根本觀念ガ定マルコトト思フ

ノデアリマスガ、少シク文字ノ疑義、ト

云フヨリモ根本精神ノ方ニ關スル問題デ

ゴザイマスカラ、或ハ大體論ノ所デ御尋

ねシテ宜カット思ヒマスガ、個人ノ負

債ニ對シテ國家ガ其尻拭ヒヲシテヤルノデ

モ、斯様ナ立法ヲ爲スト云フコトニ付テ根

本的ニサウ云フヤウナ色ミノ點ニ關シテ御

研究ニナリ、又論議モ生ゼラレタ云フヤ

ウナコトデモアリマスナラバ、ソレヲ伺ッテ

置クコトガ宜カラウト思ヒマスカラ、其點

ニ付テ御伺ヒ致シテ置キマス

○政府委員(小平權一君) 御尋ノ點ハ誠ニ

御尤ダト存ジマス、斯ウ云フコトガ當時行

ハレルト云フコトニナリマスト云フト、餘

程考ヘナケレバナラヌコトデアルト思フノ

デアリマス、此點ハ負債整理ヲ致シマス此

案ヲ樹立イタシマス場合ニ於キマシテ、十

分慎重審議イタシマシタノデアリマス、尙

ホ負債整理ノ問題ハ農林審議會ニ於キマシ

テモ、此問題ガ出マシテ、關係方面ノソレ

ソレノ其方面ノ堪能ノ方、又經濟關係方面

ニ十分御關係ノ重要ナ地位ニ御在リノ方ノ

御集リラ願ツテ十分慎重審議ヲ致シタノデ

アリマシテ、兎ニ角現在ノ我國ノ農村ハ非

常ナル不況ノ場合ニ際會イタシマシテ、又

踏ムヤウナコトニナル虞レガアルノデアリ

マスカラ、餘程其邊ニ付テハ深ク考慮ヲ拂フ

テ行カナケレバナラヌモノダト思フノデア

リマスグ、無論此法律ハ其點ニハ十分考慮

ヲ逐フテ…左様ニ願ヒタイト思ヒマス

○菅原通敬君 是ハ第一條ハ農村負債整理

法ノ目的ヲ定メル爲デ、此處デ此負債整理

ナルモノノ根本觀念ガ定マルコトト思フ

ノデアリマスガ、少シク文字ノ疑義、ト

云フヨリモ根本精神ノ方ニ關スル問題デ

ゴザイマスカラ、或ハ大體論ノ所デ御尋

ねシテ宜カット思ヒマスガ、個人ノ負

債ニ對シテ國家ガ其尻拭ヒヲシテヤルノデ

モ、斯様ナ立法ヲ爲スト云フコトニ付テ根

本的ニサウ云フヤウナ色ミノ點ニ關シテ御

研究ニナリ、又論議モ生ゼラレタ云フヤ

ウナコトデモアリマスナラバ、ソレヲ伺ッテ

置クコトガ宜カラウト思ヒマスカラ、其點

ニ付テ御伺ヒ致シテ置キマス

○政府委員(小平權一君) 御尋ノ點ハ誠ニ

御尤ダト存ジマス、斯ウ云フコトガ當時行

ハレルト云フコトニナリマスト云フト、餘

程考ヘナケレバナラヌコトデアルト思フノ

デアリマス、此點ハ負債整理ヲ致シマス此

案ヲ樹立イタシマス場合ニ於キマシテ、十

分慎重審議イタシマシタノデアリマス、尙

ホ負債整理ノ問題ハ農林審議會ニ於キマシ

テモ、此問題ガ出マシテ、關係方面ノソレ

ソレノ其方面ノ堪能ノ方、又經濟關係方面

ニ十分御關係ノ重要ナ地位ニ御在リノ方ノ

御集リラ願ツテ十分慎重審議ヲ致シタノデ

アリマシテ、兎ニ角現在ノ我國ノ農村ハ非

常ナル不況ノ場合ニ際會イタシマシテ、又

踏ムヤウナコトニナル虞レガアルノデアリ

マスカラ、餘程其邊ニ付テハ深ク考慮ヲ拂フ

テ行カナケレバナラヌモノダト思フノデア

リマスグ、無論此法律ハ其點ニハ十分考慮

ヲ逐フテ…左様ニ願ヒタイト思ヒマス

○菅原通敬君 是ハ第一條ハ農村負債整理

法ノ目的ヲ定メル爲デ、此處デ此負債整理

ナルモノノ根本觀念ガ定マルコトト思フ

ノデアリマスガ、少シク文字ノ疑義、ト

云フヨリモ根本精神ノ方ニ關スル問題デ

ゴザイマスカラ、或ハ大體論ノ所デ御尋

ねシテ宜カット思ヒマスガ、個人ノ負

債ニ對シテ國家ガ其尻拭ヒヲシテヤルノデ

モ、斯様ナ立法ヲ爲スト云フコトニ付テ根

本的ニサウ云フヤウナ色ミノ點ニ關シテ御

研究ニナリ、又論議モ生ゼラレタ云フヤ

ウナコトデモアリマスナラバ、ソレヲ伺ッテ

置クコトガ宜カラウト思ヒマスカラ、其點

ニ付テ御伺ヒ致シテ置キマス

○政府委員(小平權一君) 御尋ノ點ハ誠ニ

御尤ダト存ジマス、斯ウ云フコトガ當時行

ハレルト云フコトニナリマスト云フト、餘

程考ヘナケレバナラヌコトデアルト思フノ

デアリマス、此點ハ負債整理ヲ致シマス此

案ヲ樹立イタシマス場合ニ於キマシテ、十

分慎重審議イタシマシタノデアリマス、尙

ホ負債整理ノ問題ハ農林審議會ニ於キマシ

テモ、此問題ガ出マシテ、關係方面ノソレ

ソレノ其方面ノ堪能ノ方、又經濟關係方面

ニ十分御關係ノ重要ナ地位ニ御在リノ方ノ

御集リラ願ツテ十分慎重審議ヲ致シタノデ

アリマシテ、兎ニ角現在ノ我國ノ農村ハ非

常ナル不況ノ場合ニ際會イタシマシテ、又

踏ムヤウナコトニナル虞レガアルノデアリ

マスカラ、餘程其邊ニ付テハ深ク考慮ヲ拂フ

テ行カナケレバナラヌモノダト思フノデア

リマスグ、無論此法律ハ其點ニハ十分考慮

ヲ逐フテ…左様ニ願ヒタイト思ヒマス

○菅原通敬君 是ハ第一條ハ農村負債整理

法ノ目的ヲ定メル爲デ、此處デ此負債整理

ナルモノノ根本觀念ガ定マルコトト思フ

ノデアリマスガ、少シク文字ノ疑義、ト

云フヨリモ根本精神ノ方ニ關スル問題デ

ゴザイマスカラ、或ハ大體論ノ所デ御尋

ねシテ宜カット思ヒマスガ、個人ノ負

債ニ對シテ國家ガ其尻拭ヒヲシテヤルノデ

モ、斯様ナ立法ヲ爲スト云フコトニ付テ根

本的ニサウ云フヤウナ色ミノ點ニ關シテ御

研究ニナリ、又論議モ生ゼラレタ云フヤ

ウナコトデモアリマスナラバ、ソレヲ伺ッテ

置クコトガ宜カラウト思ヒマスカラ、其點

ニ付テ御伺ヒ致シテ置キマス

○政府委員(小平權一君) 御尋ノ點ハ誠ニ

御尤ダト存ジマス、斯ウ云フコトガ當時行

ハレルト云フコトニナリマスト云フト、餘

程考ヘナケレバナラヌコトデアルト思フノ

デアリマス、此點ハ負債整理ヲ致シマス此

案ヲ樹立イタシマス場合ニ於キマシテ、十

分慎重審議イタシマシタノデアリマス、尙

ホ負債整理ノ問題ハ農林審議會ニ於キマシ

テモ、此問題ガ出マシテ、關係方面ノソレ

ソレノ其方面ノ堪能ノ方、又經濟關係方面

ニ十分御關係ノ重要ナ地位ニ御在リノ方ノ

御集リラ願ツテ十分慎重審議ヲ致シタノデ

アリマシテ、兎ニ角現在ノ我國ノ農村ハ非

常ナル不況ノ場合ニ際會イタシマシテ、又

踏ムヤウナコトニナル虞レガアルノデアリ

マスカラ、餘程其邊ニ付テハ深ク考慮ヲ拂フ

テ行カナケレバナラヌモノダト思フノデア

リマスグ、無論此法律ハ其點ニハ十分考慮

ヲ逐フテ…左様ニ願ヒタイト思ヒマス

○菅原通敬君 是ハ第一條ハ農村負債整理

法ノ目的ヲ定メル爲デ、此處デ此負債整理

ナルモノノ根本觀念ガ定マルコトト思フ

ノデアリマスガ、少シク文字ノ疑義、ト

云フヨリモ根本精神ノ方ニ關スル問題デ

ゴザイマスカラ、或ハ大體論ノ所デ御尋

ねシテ宜カット思ヒマスガ、個人ノ負

債ニ對シテ國家ガ其尻拭ヒヲシテヤルノデ

モ、斯様ナ立法ヲ爲スト云フコトニ付テ根

本的ニサウ云フヤウナ色ミノ點ニ關シテ御

研究ニナリ、又論議モ生ゼラレタ云フヤ

ウナコトデモアリマスナラバ、ソレヲ伺ッテ

置クコトガ宜カラウト思ヒマスカラ、其點

ニ付テ御伺ヒ致シテ置キマス

○政府委員(小平權一君) 御尋ノ點ハ誠ニ

御尤ダト存ジマス、斯ウ云フコトガ當時行

ハレルト云フコトニナリマスト云フト、餘

程考ヘナケレバナラヌコトデアルト思フノ

デアリマス、此點ハ負債整理ヲ致シマス此

案ヲ樹立イタシマス場合ニ於キマシテ、十

分慎重審議イタシマシタノデアリマス、尙

ホ負債整理ノ問題ハ農林審議會ニ於キマシ

テモ、此問題ガ出マシテ、關係方面ノソレ

ソレノ其方面ノ堪能ノ方、又經濟關係方面

ニ十分御關係ノ重要ナ地位ニ御在リノ方ノ

御集リラ願ツテ十分慎重審議ヲ致シタノデ

アリマシテ、兎ニ角現在ノ我國ノ農村ハ非

常ナル不況ノ場合ニ際會イタシマシテ、又

踏ムヤウナコトニナル虞レガアルノデアリ

マスカラ、餘程其邊ニ付テハ深ク考慮ヲ拂フ

テ行カナケレバナラヌモノダト思フノデア

リマスグ、無論此法律ハ其點ニハ十分考慮

ヲ逐フテ…左様ニ願ヒタイト思ヒマス

○菅原通敬君 是ハ第一條ハ農村負債整理

法ノ目的ヲ定メル爲デ、此處デ此負債整理

ナルモノノ根本觀念ガ定マルコトト思フ

ノデアリマスガ、少シク文字ノ疑義、ト

云フヨリモ根本精神ノ方ニ關スル問題デ

ゴザイマスカラ、或ハ大體論ノ所デ御尋

シタ、負債整理ニ依テ惰民ヲ生ズルト云  
フヤウナ弊害ガナイヤウニ立案ヲ致シタ譯  
デアリマシテ、尙ホ斯ウ云フ法律ハ臨時立  
法デアリマシテ、負債整理組合ノ設立ノ期  
間モ此法律ガ施行後三箇年ニ限、タノデア  
リマス、三箇年ニ限、此法律ニ依テ、負  
債整理組合ガ設置出来ルノデアリマシテ、  
其後ハ斯ノ如キ負債整理組合設置ハ出來ナ  
イコトニ法制上立案イタシテ居ルノデアリ  
マス、左様ニ致シマシテ、今現在非常ニ困  
テ居ル農家ノ經濟狀態ヲ見マシテ、ソレニ  
即シテ、弊害ヲ十分除去スルヤウニシテ、  
農家ノ負債整理ヲ……隣保供助ノ精神ヲ以  
テ、負債整理組合ハ營利ヲ目的トシナイ、サ  
ウ云フ機關ニ依テ負債整理ヲ致シマシテ、  
ソレニ對シテ國家ガ或程度ノ助成ヲスルト  
云フコトニ致シマスレバ、之ニ依テ色ミノ  
弊害ガ起キルヤウナコトガナク行クノヂヤ  
ナカラウカト考ヘテ居ル次第デアリマシテ、  
又法律ヲ實際運用スル場合ニ於キマシテハ、  
十分農林省ニ於キマシテモ、其精神ヲ能ク  
農山漁家ニ徹底スルヤウニ致シマシテ、ソ  
レニ依テ國家ニ無暗ニ將來頼ルト云フヤ  
ウナ弊害ガ絶無ニナルヤウニ致シタイ  
ト云フヤウニ考ヘテ居リマス、左様御承知  
ヲ願ヒマス

○菅原通敬君 御尋ネ申シタ點ニ付テハ政  
府ニ於テモ十分御考慮ニナツテ、再ビ其弊害  
ノ後ニ残ルヤウナコトノナイヤウニ注意シ  
テ行ク、其御誠意ハ能ク諒解イタシタノデ  
アリマス、何様假令是ガ臨時ノ法デアル、  
又非常ノ立法デアルト致シマシテモ、是ガ  
先例ヲ爲シテ後ニ又色ミナ煩ヒヲ惹起スヤ  
ウナ虞レモアルコトデアリマスカラ、其施  
行上ニ付テハ十分ノ御注意ヲ希望イタシマ  
ス、是デ質問ヲ打切りニ致シマス

○山岡萬之助君 第八條ノ「信用組合共ノ  
他勅令ヲ以テ定ムル法人」ト云フコトニ付  
テ凡ソノコトヲ伺ヒタイト同時ニ、此八條  
ノ組合ハ即チ負債整理組合ト看做サレマシ  
テ、本法ノ負債整理組合ニナルノデアリマ  
スガ、今マデ負債整理組合ノ法律ガナイ場  
合ニ於テ、産業組合等ニ大分ニ負債整理ヲ  
致シテ居ルノデアリマス、政府ノ方針ハ新  
シク負債整理組合ヲ作ル方面ニ力ヲ入レル  
ノデアルカ、或ハ在來ノ既ニ存立シタル法  
人ヲ利用スル方ニ力ヲ入レル考デアルカ、  
其事ヲ承ハリタイ

旋ガ協定ノ成ラザル場合ニ於テハ、市町村  
負債整理委員會ニ對シテ、其協定ノ斡旋ヲ  
更ニ求メテモ宜シ、求メヌデモ宜シ。イト、  
斯ウナツ居ル譯ニアリマス、第一段ニハ組  
合ニ於テ協定ノ斡旋ヲ爲シ、第二段ニ於テ  
更ニ進ンデ市町村負債整理委員會ニ對シ  
テ、協定斡旋ヲ爲サシムルト云フコトニハッ  
キリサセテ置ク方ガ宜カラウト思フノデア  
リマスガ、第四條ノ第一項ハ斡旋ヲ請求シ  
テモ宜シ、請求セヌデモ宜シ。イト云フヤウ  
ニ自由ニ是ガナツ居ルト云フコトニナリ  
マスト云フト、協定ノ斡旋ヲ十分完フル  
コトガ出來ナイヤウナコトニナリハセヌカ  
ト思フノデアリマス、斡旋ヲ請求スペシト  
云フヤウナ風ニハ是ハ書ケナイノデアリマ  
スカ、ドウ云フコトニナルノデアリマスカ、  
得ト書イテアルノハ……

キマシテハ此貸付ノ條件ニハ必ズ相當ノ協定ガ成立フタモノデナケレバ、負債整理資金ノ貸付ハ致サヌコトニシテ居リマスカラ、市町村負債整理委員會ガアリマスレバ必ズ其處へ第二段ニ持テ行テ協定斡旋ヲサセルコトニナルノデアリマシテ、又事實ニ於キマシテ市町村負債整理組合委員會ト云フモノガ出來ナイ場合ニハ、負債整理組合ダケ出來テ居テ、委員會ガ出來ナイ場合ニモ、負債整理組合トシテハ負債整理ノ事業ヲ遂行イタサヌトイカヌノデアリマスカラ、サウ云フ萬一ノ場合モアリマスカラ、法律ノ規定ト致シマシテハ、負債整理組合ハ市町村負債整理委員會ニ請求スルコトヲ得ト規定イタシテ居ル譯デアリマシテ、事實ニ於キマシテハ貸付ノ條件ニハ必ズ負債整理委員會ニカケテ、協定ガ成立フタモノニ付テ整理資金ノ融通ヲ致スト云フコトニシテ行キタイト考ヘテ居ル次第アリマス〇**茨原通敬君**　此市町村負債整理委員會ト云フモノノ設立ノナイ場合ガアルノデアリニ出來テ、マダ負債整理委員會ガ出來ナイマスカ

ヤウナ場合モ制度トシテハ想像出來マスノ  
デ、制度上ハサウ云フ風ニ書イタ譯デアリ  
マス、勿論出來ルダケ負債整理組合モ、負  
債整理委員會モ負債整理組合ガ出來マス町  
村ニハ必ズ設置セタタイト考ヘテ居ルノデ  
アリマスガ、法律ノ立前トシテハナキ場合  
モアリ得ルノデアリマスカラ、法律ノ書キ  
方ハ斯ノ如ク書イタ譯デアリマス、尙ホ重  
ネテ申上ゲマスヤウデアリマスガ、資金融  
通ノ條件ニハ必ズ此階段ヲ經テ來タモノニ  
限リタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマ  
スカラ、實際ノ運用ニ於キマシテハ町村部  
落ノ負債整理組合ガ協定ガ成ツタモノニ資金ノ  
融通ヲスルコトニ相成ルコトニ考ヘテ居ル  
ノデアリマス

ノ歩調ニ一致スルコトニナリ、市町村負債整理委員會ナルモノハ組合ヨリ遲レテ出テ來ルコトガアルト云フガ、遲レルニシテモ、サウ遅レルモノデナイト思フノデアリマス、又其處へ持テ行ク迄ノ間ニハ相當ノ期間ガアルノデ、即チ組合ニ於テ色々斡旋ヲセシメテモ、ソレガ出來ナイト言タ時ニ、初メテ市町村ノ負債整理委員會ニ行クノデアルカラ、其處ノ間ニ或期間ガ相當ニアルノデアル、ソレ迄ニハ出來ルモノナラバ、市町村負債整理委員會ガ出來テ居ランケレバナラヌ、又假ニサウ云フ運ビニハ至ラヌデモ、其處ノ間ニ大分期間ヲ置クヤウナコトガアツテ、市町村整理委員會ガマダ成立シナイト云フヤウナコトガアルト致シマシテモ、サウ云フ場合デアルナラバ、市町村負債整理委員會ノアル所ニ於テハ、其協定ノ斡旋ヲスペシト云フヤウニ、組合ニ對シテ命令ヲシテ置ク方ガ私ハッキリスルタラウト思ヒマス、マダ其點ガ満足シマセヌカラ御尋ネシマス

<p>理委員會ガナキ場合ガ制度上ハ豫想サレマ スノデ、第五條ト第四條ノ關聯上請求ヲ爲 スコトヲ得ト云フ權限ニ書キ現ハシタノデ アリマス、實際ノ運用トシテハ、町村負債 整理委員會ガアル以上ハソレニ出來ルダケ 持テ來サシタイト考ヘテ居ル次第アリ マス、法律ノ書キ方トシテハ、矢張リ負債 整理委員會ノナキ場合モ絶無トハ言ヘナイ ノデアリマスガ、第四條第五條ト關聯シテ 請求スルコトヲ得ト云フ規定ニ致シタノデ アリマス</p>
<p>○政府委員(小平權一君) 負債整理委員會 ハ前ニ簡單ニ申上ガタノデアリマスガ、大 體二十人乃至三十人程度ノ委員ノ數ニ致シ タイト考ヘテ居リマス、其委員ニナル方ミ ハ市町村ノ主モダッタル者ハ勿論委員ニナ テ戴クノデアリマスガ、農會長トカ、市町 村關係ノ方、其村ノ信用組合ノ關係ノ方、 又其村ノ農事ノ指導督勵ニ當ル方ミ、其村 ノ名望家デアリマストカ、其村ノ色ミノ仕 事ヲ當時、公ノ役員ニナッテ居ラヌケレド モ、常時色ミ斡旋ヲシテ居ル方ミ、サウ云 フ市町村ノ主ナル方ミ二三十名ニ對シテ地 方長官ガ囑託ヲ致シマシテ、任免等モ總テ 地方長官ガ之ヲ致スコトニ致シタイト考ヘ ネ</p>
<p>○政府委員(小平權一君) 法律ノ分離解釋 トシテハ左様ニハナル譯デアリマス、實際 ノ貸付條件其他命令等ニ依テ、此點ハ趣旨 ハ徹底スルヤウニ致シタイト考ヘテ居ル次 第デアリマス</p> <p>○男爵平野長祥君 チヨトト今第四條ニ關 聯シテ伺ヒタイノデアリマスガ、一體此負 債整理委員會ノ組織其他ノコトハ勅令デ御 決メニナルノデセウガ、大體ノ御見込ハド ウ云フモノヲ以テ、此委員會ノ委員ヲ御決 メニナルト云フヤウナ御見込ガアラレルノ デアリマスカ</p>
<p>○政府委員(小平權一君) 負債整理委員會 ハ前ニ簡單ニ申上ガタノデアリマスガ、大 體二十人乃至三十人程度ノ委員ノ數ニ致シ タイト考ヘテ居リマス、其委員ニナル方ミ ハ市町村ノ主モダッタル者ハ勿論委員ニナ テ戴クノデアリマスガ、農會長トカ、市町 村ノ名望家デアリマストカ、其村ノ色ミノ仕 事ヲ當時、公ノ役員ニナッテ居ラヌケレド モ、常時色ミ斡旋ヲシテ居ル方ミ、サウ云 フ市町村ノ主ナル方ミ二三十名ニ對シテ地 方長官ガ囑託ヲ致シマシテ、任免等モ總テ 地方長官ガ之ヲ致スコトニ致シタイト考ヘ ネ</p> <p>○上松泰造君 「貸付ノ條件ヲ具備セザル」 テ居ルノデアリマス、其權限ト致シマシテ ハ負債整理組合デ請求ガアツタ場合ノ協定 ノ斡旋ニ關スル事項、行政廳ニ對シテ當該 ト、ソレカラ又行政廳ニ對シテ負債整理ニ 關スル意見ヲ具申スルコトガ出來ル、ソレ 等ガ主ナル權限ニ致シマシテ、其市町村ニ 成シナイト思フノデスガ、ドウ云フコトニ ナリマスカ、御説明ヲ願ヒマス</p>

## ○政府委員(小平權一君) 御尋ノ點ハ無限

ハ誠ニ我國古來ノ道德ヲ振興スル所以デア

タ譯デアリマス、勿論此組合ニ依テ整理

スガ、如何デアリマス

責任組合ニ入ッテ、金ヲ借りナイデ整理ノ助成ヲスル目的ダケデ入ルコトガアルカドウ

リマスカラ望マシイコトデアリ、從テ政府ノ御説明ニナルヤウニ、債務者以外ノ即チ低

出來ルダケ擔保モ提供イタシマスルシ、其外色ミノ義務モ負擔スルノデアリマスカラ、

マシテハ、任意脱退ノ場合ニハ、其組合ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ條件ト致シテ居リマス、併シ除名ニ依ル脱退等ノコトニ付キマシテ

是ハ相當困難ノコトデアルカトモ思フノデアリマスガ、出來ルダケ親戚トカ、隣人トカ、友人等、債務者ヲ特ニ援ケテ負債整理ヲ致サセタイト云フヤウナ、サウ云フ篤志ノ方ノ奮起ヲ促シ、出來ルナラ債務者ノミデナクテサウ云フ親戚、隣人等モ入ッテ

戴イテ、サウシテ本當ニ債務者ノ爲ニ、其部落ノ爲ニ負債整理ヲスルト云フコトニ進メテ行キタイト考ヘテ居ルノデアリマス、

是ハ當然サウデアリマス、其以外ノ人ハ有限責任デ出資額ダケノ責任ヲ持ツ、斯ウ云フ風ニ立法スルノガ政府ノ御考ヘ通リデア

ルナラバ當然シナケレバナラヌ、然ルニ一切無限責任デアルト云フコトデハ政府ノ考ヘルコトハ逆モ行ハレナイト考ヘマス、何ガ故ニ債務整理ヲサレル人ハ無限責任、サウデナクシテ助成ノ爲ニ加入スル者ガ有限責任ト云フ風ニ立テナカッタノデアリマス

無盡ノヤウナモノニ於キマシテモ、サウ云フ援助ノ意味デ仲間ニナルト云フ者モ農村ニ於テハ絶無デナイノデアリマスカラ、出來ルダケ指導ヲ致シマシテサウ云フ者モ入

レテ、部落全體一致シテ部落ノ負債ヲ無クシテ行カウト云フ方ニ仕向ケタイト考ヘテ居ルノデアリマス、非常ニ困難デハナイカ

ト思フノデアリマスガ、出來ルダケサウ云フ方ヘ極力進メテ行キタイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○山岡萬之助君 隣保共助ノ道徳的觀念ヨリシテ隣人相寄テ債務者ノ更生ヲ圖ル、是

スガ、如何デアリマス

○政府委員(小平權一君) 加入脱退ニ付キ

ヲシテ特別融通ヲ受ケル組合員ハ、色ミナ

實際ニ於テハ負擔ノ關係ハ相當債務者ニ生ズルノデアラウカト思フノデアリマスガ、

ハ餘程考ヘサセラレル點モゴサイマスルノデアリマシテ、組合員一致シテヤラウト云

部落ニ於キマシテハ矢張リ出來ルダケ皆ガ全責任ヲ負フト云フコトニ致シタ方ガ、本當ニ強イ組合ガ出來ルデヤナイカト考ヘテ

斯ノ如ク致シタ譯デアリマス

○山岡萬之助君 御説明ヲ承リマシタガ、立法スルニ方リマシテハ、難キヲ人ニ強ヒ

トニモナルンデハナカラウカト云フノデ、サウ云フ點ハ法律ノ規定カラ除イテ居ルノフト、義務違反ノヤウナコトヲ獎勵スルコトガ却テ生ズルト云フ、組合ノ方デソレヲ脱退サセルト云フコトニナリマスト云

トニモナルンデハナカラウカト云フノデ、サウ云フ點ハ法律ノ規定カラ除イテ居ルノ

デアリマス、寧ロ債務ヲ負シタ、責任ヲ負タ以上ハ何處迄モ永ク責任ヲ取ッテ行キタデアリマス、

イト云フ考ヘ方デ、組合ノ三分ノ二以上、同意シタ場合ニ脱退出來ルト云フコトニ規定シタ譯デアリマス

○菅原通敬君 此第十四條ノ保證責任ノ組合ニ付テノ出資額及其一定ノ金額所謂保證金額、ソレカラ第二十一條ノ積立金、是等ノ關係ガ能ク私ハ分ラヌノデアリマスガ、

此出資額ト云フモノハ一口ノ金額幾ラト云

フコトニ定ムルヤウニアリマスガ、是等ハ

産業組合法ヲ準用サレルコトニナツテ居ル

カラ、一口以上三十口迄持ツコトガ出來ルヤ

ケレバ保證責任組合、斯ウ云フ工合ニ致シ

スガ、如何デアリマス

○政府委員(小平權一君) 加入脱退ニ付キ

ヲシテ特別融通ヲ受ケル組合員ハ、色ミナ

實際ニ於テハ負擔ノ關係ハ相當債務者ニ生

ズルノデアラウカト思フノデアリマスガ、

ハ餘程考ヘサセラレル點モゴサイマスルノ

デアリマシテ、組合員一致シテヤラウト云

部落ニ於キマシテハ矢張リ出來ルダケ皆ガ

全責任ヲ負フト云フコトニ致シタ方ガ、本當ニ強イ組合ガ出來ルデヤナイカト考ヘテ

斯ノ如ク致シタ譯デアリマス

○山岡萬之助君 御説明ヲ承リマシタガ、立法スルニ方リマシテハ、難キヲ人ニ強ヒ

トニモナルンデハナカラウカト云フノデ、サウ云フ點ハ法律ノ規定カラ除イテ居ルノ

フト、義務違反ノヤウナコトヲ獎勵スルコトガ却テ生ズルト云フ、組合ノ方デソレヲ脱退サセルト云フコトニナリマスト云

トニモナルンデハナカラウカト云フノデ、サウ云フ點ハ法律ノ規定カラ除イテ居ルノ

デアリマス、寧ロ債務ヲ負シタ、責任ヲ負タ以上ハ何處迄モ永ク責任ヲ取ッテ行キタデアリマス、

イト云フ考ヘ方デ、組合ノ三分ノ二以上、同意シタ場合ニ脱退出來ルト云フコトニ規定シタ譯デアリマス

○菅原通敬君 此第十四條ノ保證責任ノ組合ニ付テノ出資額及其一定ノ金額所謂保證金額、ソレカラ第二十一條ノ積立金、是等ノ關係ガ能ク私ハ分ラヌノデアリマスガ、

此出資額ト云フモノハ一口ノ金額幾ラト云

フコトニ定ムルヤウニアリマスガ、是等ハ

産業組合法ヲ準用サレルコトニナツテ居ル

カラ、一口以上三十口迄持ツコトガ出來ルヤ

ケレバ保證責任組合、斯ウ云フ工合ニ致シ

スガ、如何デアリマス

○政府委員(小平權一君) 加入脱退ニ付キ

ヲシテ特別融通ヲ受ケル組合員ハ、色ミナ

實際ニ於テハ負擔ノ關係ハ相當債務者ニ生

ズルノデアラウカト思フノデアリマスガ、

ハ餘程考ヘサセラレル點モゴサイマスルノ

デアリマシテ、組合員一致シテヤラウト云

部落ニ於キマシテハ矢張リ出來ルダケ皆ガ

全責任ヲ負フト云フコトニ致シタ方ガ、本當ニ強イ組合ガ出來ルデヤナイカト考ヘテ

斯ノ如ク致シタ譯デアリマス

○山岡萬之助君 御説明ヲ承リマシタガ、立法スルニ方リマシテハ、難キヲ人ニ強ヒ

トニモナルンデハナカラウカト云フノデ、サウ云フ點ハ法律ノ規定カラ除イテ居ルノ

フト、義務違反ノヤウナコトヲ獎勵スルコトガ却テ生ズルト云フ、組合ノ方デソレヲ脱退サセルト云フコトニナリマスト云

トニモナルンデハナカラウカト云フノデ、サウ云フ點ハ法律ノ規定カラ除イテ居ルノ

デアリマス、寧ロ債務ヲ負シタ、責任ヲ負タ以上ハ何處迄モ永ク責任ヲ取ッテ行キタデアリマス、

イト云フ考ヘ方デ、組合ノ三分ノ二以上、同意シタ場合ニ脱退出來ルト云フコトニ規定シタ譯デアリマス

○菅原通敬君 此第十四條ノ保證責任ノ組合ニ付テノ出資額及其一定ノ金額所謂保證金額、ソレカラ第二十一條ノ積立金、是等ノ關係ガ能ク私ハ分ラヌノデアリマスガ、

此出資額ト云フモノハ一口ノ金額幾ラト云

フコトニ定ムルヤウニアリマスガ、是等ハ

産業組合法ヲ準用サレルコトニナツテ居ル

カラ、一口以上三十口迄持ツコトガ出來ルヤ

ケレバ保證責任組合、斯ウ云フ工合ニ致シ

スガ、如何デアリマス

○政府委員(小平權一君) 加入脱退ニ付キ

ヲシテ特別融通ヲ受ケル組合員ハ、色ミナ

實際ニ於テハ負擔ノ關係ハ相當債務者ニ生

ズルノデアラウカト思フノデアリマスガ、

ハ餘程考ヘサセラレル點モゴサイマスルノ

デアリマシテ、組合員一致シテヤラウト云

部落ニ於キマシテハ矢張リ出來ルダケ皆ガ

全責任ヲ負フト云フコトニ致シタ方ガ、本當ニ強イ組合ガ出來ルデヤナイカト考ヘテ

斯ノ如ク致シタ譯デアリマス

○山岡萬之助君 御説明ヲ承リマシタガ、立法スルニ方リマシテハ、難キヲ人ニ強ヒ

トニモナルンデハナカラウカト云フノデ、サウ云フ點ハ法律ノ規定カラ除イテ居ルノ

フト、義務違反ノヤウナコトヲ獎勵スルコトガ却テ生ズルト云フ、組合ノ方デソレヲ脱退サセルト云フコトニナリマスト云

トニモナルンデハナカラウカト云フノデ、サウ云フ點ハ法律ノ規定カラ除イテ居ルノ

デアリマス、寧ロ債務ヲ負シタ、責任ヲ負タ以上ハ何處迄モ永ク責任ヲ取ッテ行キタデアリマス、

イト云フ考ヘ方デ、組合ノ三分ノ二以上、同意シタ場合ニ脱退出來ルト云フコトニ規定シタ譯デアリマス

○菅原通敬君 此第十四條ノ保證責任ノ組合ニ付テノ出資額及其一定ノ金額所謂保證金額、ソレカラ第二十一條ノ積立金、是等ノ關係ガ能ク私ハ分ラヌノデアリマスガ、

此出資額ト云フモノハ一口ノ金額幾ラト云

フコトニ定ムルヤウニアリマスガ、是等ハ

産業組合法ヲ準用サレルコトニナツテ居ル

カラ、一口以上三十口迄持ツコトガ出來ルヤ

ケレバ保證責任組合、斯ウ云フ工合ニ致シ

スガ、如何デアリマス

○政府委員(小平權一君) 加入脱退ニ付キ

ヲシテ特別融通ヲ受ケル組合員ハ、色ミナ

實際ニ於テハ負擔ノ關係ハ相當債務者ニ生

ズルノデアラウカト思フノデアリマスガ、

ハ餘程考ヘサセラレル點モゴサイマスルノ

デアリマシテ、組合員一致シテヤラウト云

部落ニ於キマシテハ矢張リ出來ルダケ皆ガ

全責任ヲ負フト云フコトニ致シタ方ガ、本當ニ強イ組合ガ出來ルデヤナイカト考ヘテ

斯ノ如ク致シタ譯デアリマス

○山岡萬之助君 御説明ヲ承リマシタガ、立法スルニ方リマシテハ、難キヲ人ニ強ヒ

トニモナルンデハナカラウカト云フノデ、サウ云フ點ハ法律ノ規定カラ除イテ居ルノ

フト、義務違反ノヤウナコトヲ獎勵スルコトガ却テ生ズルト云フ、組合ノ方デソレヲ脱退サセルト云フコトニナリマスト云

トニモナルンデハナカラウカト云フノデ、サウ云フ點ハ法律ノ規定カラ除イテ居ルノ

デアリマス、寧ロ債務ヲ負シタ、責任ヲ負タ以上ハ何處迄モ永ク責任ヲ取ッテ行キタデアリマス、

イト云フ考ヘ方デ、組合ノ三分ノ二以上、同意シタ場合ニ脱退出來ルト云フコトニ規定シタ譯デアリマス

○菅原通敬君 此第十四條ノ保證責任ノ組合ニ付テノ出資額及其一定ノ金額所謂保證金額、ソレカラ第二十一條ノ積立金、是等ノ關係ガ能ク私ハ分ラヌノデアリマスガ、

此出資額ト云フモノハ一口ノ金額幾ラト云

フコトニ定ムルヤウニアリマスガ、是等ハ

産業組合法ヲ準用サレルコトニナツテ居ル

カラ、一口以上三十口迄持ツコトガ出來ルヤ

ケレバ保證責任組合、斯ウ云フ工合ニ致シ

スガ、如何デアリマス

ウニナツテ居ル、是等ハ固ヨリ營利ヲ目的トシテ居ル組合デナイノデアルカラ、一口以上三十口モ持ツナドト云フ者ガ一體アルコトヲ想像スルコトガ出來ルモノデアリマセハカドウカ、成ルベク逃ゲタイト思フ人々ハドウモ無カリサウニモ思ハレルノデアリマス、矢張リ是ハ三十口マデ持タセル趣意出來テ居ルノデアリマスカ、ソレカラ其出資額ト云フモノハ組合ノ財産ニナルノデアリマスルガ、其目的ハ矢張リ組合ノ費用ヲ負擔シ、又債務償還ノ一部ニモ充テルヤウナコトニナルモノト思フ、サウスルトヤウナ風ニモナルノデアルシ、ソコノ關係シムルト云フヤウナモノト相重ナルガドウ云フ風ニナルノデアルカ

○政府委員(小平權一君) 第十四條ノ「出資額ノ外一定ノ金額ヲ限度トシテ責任ヲ負擔ス」此規定ニ於キマシテハ大體出資金額ガ一口十圓位ヲ豫想シテ居ルノデアリマシテ、其拂込方法ハ定款デ規定イタシマシテ、或ハ分割拂ヒニ致シマストカ、或ハ一年ニ數回ニ瓦ツテ拂フコトニ致シマストカ云フコトニ致シタト思フノデアリマス、尙ホ出資額ハ此組合ニ依テ整理資金ヲ借

受ケル組合等ニ於キマシテハ相當多ク出資ヲ借リナイ組合員ト借リル組合員トガ出来バ、整理資金ヲ借リル組合員ノ方ガ出来ルナラバ多クノ出資ヲ以テ責任ヲ相當取ッテヤルヤウニ致シタト考ヘテ居ルノデアリマス、此保證金ノ點ハ產業組合ト同ジデアリマシテ、整理資金ヲ借リル場合ノ時ノ信用限度ナルノデアリマス、最後ニ負債整理組合ノ償還不可能ノ場合ニ其保證ノ責任ガ現ハレテ來ルノデアリマスガ、貸付ノ場合ニ於テハ大體信用ノ限度ガ是デ査定サレルノデアリマシテ、二十一條ノ積立金ノ方ハ負債整理ヲ負債整理組合デ行フ場合ニ於テハ天災トカ組合員ノ凶作トカ色ミノ場合ガアッテ損失ガ相當起キ得ルコトモ想像出來ルノデアリマスカラ、ソレニ備ヘル爲ニ組合員ヲシテ一定ノ積立金ヲ致サセタイ、是ハ出資金ノヤウナ一度ニ一定ノ金額ヲ持ツト云フコトデナクテ、年々一組合員ガ出來ルダケノ範圍内デサウ無理ヲシテハ是ハイカヌト思フノデアリマスガ、僅カデモ各組合員ニ貯金ヲ致サセマシテ其時金ヲ段々積シテ行ッテ、最後ニ損失ガ起キタ場合ニハ先づ其積立金ヲ其損失ニ充當スルコトニ致シマシテ、然ル後ニ此保證限度、保證ノ方ニ

損失填補ニ充テルノデアリマスガ、積立金ノ方ハ組合財産ニ一應ナツテシマフノデアリマスカラ、先づ其積立金ガ損失填補ニ充テラレテ、然後ニ保證限度、保證金ノ方ニ責任ガ移ツテ行クコトニ考ヘテ居ル次第ト云フコトハ先年ノ案ニ於ケル連帶責任ノマスガ、此保證責任ノ組合ニ出資ヲサセル組合ニ強制出資ヲ命ジタト云フコトト目的ハ同ジナノデスカ、違フノデアリマスカ

○菅原通敬君 此第五條ノ第十三號ニハ出資一口ノ金額ヲ定メマス、一口ノ金額ハ只今申シマシタ通リ十圓見當ト云フコトデアリマスガ、是ハ矢張リ數口ヲ持タスコトヲ豫想サレテアルノデスカ

○政府委員(小平權一君) 出資口數ハ整理資金ヲ借リマス信用限度ニナリマス關係上、成ルタケ二口位ハ平均ニ持ツテ戴キタス、サウシテ是等ハ又定款デソレドヽ規定ヲ借リル組合員八十口ナリ十五口ナリ多ク持タシタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、サウシテ是等ハ又定款デソレドヽ規定ヲ借リル組合員ハ四十口ナリ十五口ナリ多クト相當ノ責任ガ登記關係デ明瞭ニナルノデアリマス、ソコデドウシテモ矢張リ法律ノ規定トシテハ保證責任ハ出資ヲ必ズ持ツテ、其何倍カガ保證金額ニナルト云フコトニ致シマシタ方ガ、法律ノ規定トシテハ最モ適當デアルノデアリマスカラ左様ニ致シタ譯デアリマス、別ニ無限責任組合ニ出資ヲ強當デアルヤウナ考ヘ方トハ違ツタ立前、制度請スルヤウナ考ヘ方トハ違ツタ立前、制度上ノ立前カラ來テ居ル次第デアリマス

少クトモ一口ノ出資ヲセヌケレバ組合ニ加入ガ出來ヌト云フコトニナレバ、少クトモ一口ヲ出資スルト云フコトハ強制出資ニナル、其一口ノモノハドウシテモ其資格ヲ得ル爲ニ必要デアルカラ、ソレハ或ハ持ツコトニナルノデアリマセウ、持タナケレバナラヌコトニナルノデアリマスガ、其出資ト云フモノハ保證責任ノ限度ヲ現ハスモノデアルト云フコトニナリマスト、何ニシテモ責任ノサウ他人ヨリモ重クナルコトヲ望ムト云フ者ハ先ヅナイト見ナケレバナラヌ、數口ヲ持ツト云フヤウナコトハ殆ド豫想ノ出来ナイコトダラウト思フノデアルケレドモ、ソレハ寧ロ無用ナ規定ニナラヌノデアリマスカ

○政府委員(井野碩哉君) 昨年貴族院ノ御協贊ヲ願ヒマシタ負債整理組合法案ニ於キマシテ、無限責任組合ノ組合員ニ對シテ出資ヲ強制スル規定ガアツノヲ貴族院デ御反対ニナツテ削除シタト云フヤウナ御話デゴザイマシタガ、衆議院ノ修正ニ依リマシテ貴族院ノ方へ出マシタ法案ニ於キマシテモ、無限責任組合ノ組合員ニ出資ヲ強制イタシマス規定ハ無カタノデゴザイマス、唯無限責任組合ダケデハ農村ノ事情カラ見テ不十分デアルカラ、保證責任ノ組合モ矢張リ認メ

タ方ガ宜イデハナイカト云フ意味ニ於テ、衆議院ニ於キマシテ保證責任組合ノ制度ヲ入レテ修正イタシマシタノガ、貴族院ニ出マシタ案デアリマス、デ是ハ今菅原委員ノ御話ノヤウニ保證責任組合ニ致シマスレバ、成ルベクソレハ責任ノ限度ノ少ナイコトヲ希望スル者モアルカモ知レマセヌガ、先程丁度山岡委員ノ御話ノヤウニ農村ノ事情ニ依リマシテハ、或ハ債権者ナリ其他ノ者ガ入りマスノニ、無限責任デハ入り得ナイト云フヤウナ事情ノモノモアルノデアリマスカラ、農村ノ事情ニ依リマシテハ或部落ノ者ガ或程度ノ保證責任ノ限度ナラバ出資ヲシテモ、亦組合ニ對スル負債整理事業ノ援助ヲシテモ宜イト、云フコトモアルデアラウ、組合ニ依リマシテハ、出資ノ出來ル部落モアリマセウシ、色ニノ事情モアルト考ヘマシタノデ、本年ノ政府提出法律案ニ於キマシテハ無限責任組合ノ外ニ保證責任組合ノ制度ヲ認メマシテ、サウシテ成ルベクキマシテハ無限責任組合ニ在リテハ出資一口ノ金ノ保證責任ノ組合ニ在リテハ出資一口ノ金額及其ノ拂込ノ方法トアリマシテ保證責任ノ金額ガ登記ニナインデアリマスガ、ソレニハ此組合原簿ヲ添附スペキモノトシテアリマシテ、其原簿ニアルモノハ登記ヲ受ケランクテモ宜カラウト云フ意味ニ於テ此シ得ル制度デアルナラバ、敢テ無限責任ニ限ラナクテモ宜カラウト云フ意味ニ於テ此規定ヲ設ケマシタ次第デゴザイマスカラ、タモノト看做スト云フコトニナルノデアリマセウガ、ソコデ明瞭シマスノデスカ、此

○菅原通敬君 更ニモウ一ツ伺ヒマスガ、希朢スル者モアルカモ知レマセヌガ、先程丁度山岡委員ノ御話ノヤウニ農村ノ事情ニ依リマシテハ、或ハ債権者ナリ其他ノ者ガ入りマスノニ、無限責任デハ入り得ナイト云フモノヲ分ケナカッタノデゴザイマスガ、云フヤウナ事情ニ依リマシテハ或部落ノ者ガ或程度ノ保證責任ノ限度ナラバ出資ヲシテモ、亦組合ニ對スル負債整理事業ノ援助ヲシテモ宜イト、云フコトモアルデアラウ、組合ニ依リマシテハ、出資ノ出來ル部

○政府委員(井野碩哉君) 産業組合法ノ十六條ノ五號ノ規定ヲ準用シテ居リマス關係上、其四號ニ於キマシテ組合原簿ニ保證金額ヲ書クコトニナツテ居リマス、從テ今御話ノヤウニ其組合原簿ハ登記ノ一部トナリマスノデスカラ、矢張リ登記事項トシテ載ルコトニナル譯デアリマス  
○上松泰造君 第十七條ノ登記事項ニ付テ少シ不審ヲ有ツテ居リマスノデスガ、第四號ノ保證責任ノ組合ニ在リテハ出資一口ノ金額及其ノ拂込ノ方法トアリマシテ保證責任ノ「無限責任ノ組合ニ在リテハ組合費ノ分擔ニ關スル規定」ト云フノガアリマスガ、私ハソレニ聯闘シマシテ第十二號ノ方ノ「無限責任ノ組合ニ在リテハ組合費ノ分擔ニ關スル規定」ト云フノガアリマスガ、是ハ重要ナ點デアルト思ヒマスノデ、其内容ヲ少シ承テ置キタイノデアリマスガ、組合費ノ分擔ニ關スル規定ト言ヒマスト、ドウ云フコトヲ規定ナサルノデアリマスカ、

○小林嘉平治君 此十五條ノ規定デ只今保證責任ニ關スル質問ガアツノデアリマスガ、私ハソレニ聯闘シマシテ第十二號ノ方ノ「無限責任ノ組合ニ在リテハ組合費ノ分擔ニ關スル規定」ト云フノガアリマスガ、是ハ重要ナ點デアルト思ヒマスノデ、其内容ヲ少シ承テ置キタイノデアリマスガ、組合費ノ分擔ニ關スル規定ト言ヒマスト、ドウ云フコトヲ規定ナサルノデアリマスカ、

具體的ニチヨット承テ置キマス

○政府委員(小平權一君) 無限責任ノ組合

認メニナフタノデアリマスカ

ニアリマシテハ、最初出資ガナイノデゴザ  
イマスカラ、矢張リ幾ラカノ經常費ヲドコ  
カラカ捻出セネバナラヌト思フノデアリマ  
ス、ソコデ、詰リ會費ノヤウナモノヲ一年  
ニ幾ラトカ一組合員ニ幾ラトカ云フテ取り

立テソレヲ經費ニ充テルコトニナルノデ  
アリマスカラ、例ヘバ農會費ノ分擔ニ關ス  
ル規定ガ農會法ニ規定シテアリマス、サウ  
云フヤウナコトヲ此處ニ現ハス積リデ考ヘ  
テ居ルノデアリマス

○小林嘉平治君 サウシマスルト此處ニ組  
合費ト云フノハ、單ナル經常費ニ留マルノ  
デアリマスカ、私モウ少シ廣イ意味ニ解釋  
シテ、或ハ組合員ノ中ニ義務ヲ履行セヌ時  
ニハ或ハ仲間ガ脊負フテヤルト云フヤウナ點  
マデモ組合費ノ中ニ加味シテノ、ソレヲ豫  
想シテノ分擔ノコトヲ決メテ居ルノカト  
思タノデスガ、サウデハナイノデスカ

○政府委員(小平權一君) 左様デアリマセ  
ヌ、單純ナ經費デゴザイマス

○小林嘉平治君 サウシマスルト、只今私  
ノ御尋ネシタヤウナ意味ノ損失金ニ關スル  
分擔ト云フヤウナコトニ付テハ何カ他ノ條  
文デ規定ガ出來テ居リマスカ、又サウ云フ  
コトハ一切今更ラ規定スル必要ハナイト御

シマスカ、特別融通金ノ三割ト云フモノノ

スペキ場合ヲ想像サレテ居ルノデ、ソレガ

五條ノ九號ニ損失分擔ニ關スル規定ト云フ  
ノガゴザイマス、此規定ニ依テ色ニナ規定  
ガ出來ルカト考ヘテ居ル次第デアリマス

失金額ガ三割以上ニ達シタ場合ニ於テハド  
ウナサルノデアルカ、其損失金ノ三割ヲ超  
エタ金額ヲ如何ニ處理セラルルカ、ソレヲ

シテ戴イタラドウカト思ヒマス  
○山岡萬之助君 附則ヲモ同時ニ議題ニ供  
シテ戴イタラドウカト思ヒマス

○政府委員(小平權一君) 此制度ヲ實施ス

四分ノ一以上ニ負擔スルト云フヤウナ規定  
ニハ解釋ガ出來ヌ譯デヤナイカト思ヒマス

ルニ當リマシテハ、極力損失ノ少ナイヤウ  
ニ努力イタシタイト思フノデアリマシテ、  
大體二億圓融通シテ六千萬圓ノ損失以上ニ  
ハ殆ド出ナイト考ヘテ居ル次第デアリマ  
ス、若シ假ニソレ以上ニ損失ガアタ場合、  
即チ市町村ニ對シテ負債整理組合ガ償還ガ

分ノ一ニ相當スル金額ヲ原則トシテ市町村  
ガ負擔スルト云フ規定デアリマス、北海道  
府縣ノ損失額ノ分擔スル限度ハ、第二十八  
條ニ依テ十分ノ三ニナツテ居ルノデアリマ  
スカラ、從テ一應六千萬圓ノ損失ノ補償ヲ  
道府縣ガ致スコトガ出來ルノデアリマシ  
テ、其補償シタ場合ニハ國ガ其半額ヲ補給  
スルコトニナツテ居ルノデアリマス、從テ  
道府縣及國ノ損失負擔ノ限度ハ二十八條、  
二十九條デ限定サレテ居リマス、ソコデ道  
府縣ガ補償シタ場合ニ於テ、政府ノ補給シ  
タモノノ残リノ半分ヲ市町村ニ分擔サセル  
コトガ出來ル、或ハ後年度ニ取立テヲ致シ  
マストカ、色ミソレハ契約デ決マルカト思  
フノデアリマス、道府縣デ一應補償シタモ  
ノノ中ノ四分ノ一ヲ市町村ガ負擔スルコト  
ニナツテ居リマシテ、其外ノ市町村ノ損失、

○菅原通敬君 此損失補償ハ段々御説明ニ  
依ルト色ニノ疑モ略、解ケテ來タヤウデア  
リマスガ、要スルニ損失ノ半額ハ政府ニ於  
テ負擔シ、四分ノ一ヅツハ道府縣ト市町村  
ニ於テ分擔スル、サウ云フコトニナツテ居  
行クト考ヘテ居ルノデアリマス

○菅原通敬君 市町村ハ第三十條ニ依テ  
損失補償金ノ四分ノ一ニ相當スル金額ヲ負  
擔スルコトニナツテ居ル、四分ノ一以上ノ負  
担スルコトハ認メテ居ラレヌヤウデア

而シテ政府ノ計畫ニ依ルト云フト、特別融  
通ノ二億萬圓ノ金額ニ對シテ、其三割ノ六  
千萬圓ト云フモノガ損失ニナルモノト云フ  
ル、「市町村ノ負擔スベキ金額ノ割合ニ付  
別段ノ定ヲ爲スコトヲ得」ト云フ但書ハア  
リマスケレドモ、是ハ段々御説明ニ依リマ  
ス、四分ノ一ニ達セザル場合、即チ減額

見込デ計畫サレテ居ル、要スルニ出資ト申

即チ市町村自ラ貸付主體アリマスカラ、ソレデ市町村トシテハ、一面ニ於テハ政府ノ大藏省預金部等ニ對シテ、金ヲ借りテ來テ居ルノデアリマスカラ、全額ヲ市町村トシテハ貸主タル低利資金供給者ニ償還スル義務ガアルノデアリマス、ソレハ此法律ノ三十條トハ關係ナキ條デアリマス第二十六條デ、特別融通スルコトガ出來ルト云フコトニナリマスカラ、市町村ガ貸付主體ニナフテ居リマスカラ、一方ニ於テ他所カラ金ヲ借りテ來レバ借主ニナリマスカラ、借主デアル以上ハ金額償還ノ責任ハ持ッテ居ルノデアリマス、偶其中ニ付テ道府縣ガ補償シタモノ、其半分ヲ、其四分ノ一ヲ道府縣ガ市町村ニ分擔サセテ取立テルコトガ出來ルト云フヤウナ意味ニナルノデアリマス、從テ市町村ハ飽ク迄モ預金部ニ對シテ總額ヲ償還スル義務ハ持ッテ居ルノデアリマス

○菅原通敬君 サウスルト市町村ガ預金部カラ金ヲ借りテ居ルノデアリマスカラ、結局損失ノ何處ヘモ持ッテ行キ所ノナイモノハ市町村ガ引受ケナケレバナラヌノダト、斯ウ云フ方ノ理由カラ今御話ガセ

ラレテ居リマスガ、サウスルト云フト、二十八條、二十九條、三十條ト云フモノノ分擔規定ニハ關係ナク定マテ行クコトニナリ、サウスルト第三十條ニ於ケル四分ノ一ヲ市町村ニ於テ分擔スルト云フ規定ハ、餘り嚴格ナ意味ノモノヂヤナイ、唯三割ト云フモノ迄ノ損失ニ歸スル場合ニ於テノミ適用ノアルモノデアル、損失ガ三割以上ニナフタ場合ニ於テハ此規定ハ無用ナモノダ、斯ウ云フコトニ解サナケレバナラヌコトニナルヤウデアリマスガ、ソレデ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(小平權一君) 三十條ノ四分ノ一ト申シマスノハ、道府縣デ損失補償ヲシタモノノ、四分ノ一ト云フ意味ニアリマス、道府縣デ具體的ニ損失補償ヲ致シマス、從テ市町村トシテハ其損失補償金ノ中ノ四分ノ一ヲ市町村ニ更ニ分擔サセルコトガ出来ルト云フ規定デアリマス、是ハ一旦道府縣トシテハ損失補償ガ具體的ニ現ハレテ、其損失補償ノ補償金ノ四分ノ一ヲ來ルト致シマスレバ、預金部ニ對シテ總額ヲ償還スル義務ハ持ッテ居ルノデアリマス、從テ市町村ハ飽ク迄モ預金部カラ借リテ來ルト致シマスレバ、預金部ニ對シテ總額ヲ償還スル義務ハ持ッテ居ルノデアリマス

○菅原通敬君 サウスルト市町村ガ預金部カラ金ヲ借りテ居ルノデアリマスカラ、其辨濟ノ責任ヲ持ッテ居カラ、結局損失ノ何處ヘモ持ッテ行キ所ノナイモノハ市町村ガ引受ケナケレバナラヌノダト、斯ウ云フ方ノ理由カラ今御話ガセ

ラレテ居リマスガ、サウスルト云フト、二十八條、二十九條、三十條ト云フモノノ分擔規定ニ申上ゲマスレバ、サウ云フ形ニナラウト考ヘマスルノデアリマス

○菅原通敬君 假ニ七千萬圓ノ損失補償ガ實際ニ於テ七千萬圓ノ損失ヲ生ジタト云フ場合ニ於テ道府縣ハ六千萬圓シカ補償ガ出來ルヤウデアリマスガ、ソレデ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(小平權一君) 三十條ノ四分ノ一ト申シマスノハ、道府縣デ損失補償ヲシタモノノ、四分ノ一ト云フ意味ニアリマス、道府縣デ具體的ニ損失補償ヲ致シマス、從テ市町村トシテハ其損失補償金ノ中ノ四分ノ一ヲ市町村ニ更ニ分擔サセルコトガ出来ルト云フ規定デアリマス、是ハ一旦道府縣トシテハ損失補償ガ具體的ニ現ハレバ、道府縣トシテハ其損失補償金ノ中ノ四分ノ一ヲ市町村ニ更ニ分擔サセルコトガ出来ルト云フ規定デアリマス、是ハ一旦道府縣トシテハ損失補償ガ具體的ニ現ハレバ、道府縣デ具體的ニ損失補償ヲ致シマス、從テ市町村ハ飽ク迄モ預金部カラ借リテ來ルト致シマスレバ、預金部ニ對シテ總額ヲ償還スル義務ハ持ッテ居ルノデアリマス

○菅原通敬君 サウスルト市町村ガ預金部カラ金ヲ借りテ居ルノデアリマスカラ、其辨濟ノ責任ヲ持ッテ居カラ、結局損失ノ何處ヘモ持ッテ行キ所ノナイモノハ市町村ガ引受ケナケレバナラヌノダト、斯ウ云フ方ノ理由カラ今御話ガセ

ラレテ居リマスガ、サウスルト云フト、二十八條、二十九條、三十條ト云フモノノ分擔規定ニ申上ゲマスレバ、サウ云フ形ニナラウト考ヘマスルノデアリマス

○政府委員(小平權一君) 大體左様ニナルカト思フノデアリマス、七千萬圓ノ損失ガ……萬一ノ豫想ニ依ッテ七千萬圓ノ損失ガラヌヤウニ思ヒマスガ、ソレハ私ノ考ガ違テ居リマスカ

○政府委員(小平權一君) 市町村ト云フノハ市ニ町ニ村ニアリマスガ、此「市」ト現ハシタノハ例ヘバ名古屋市等ニ於キマシテ、名古屋市ノ……擴張サレタ現在ノ名古屋市ニ於キマシテハ、其郡部ノ澤山農村デアッタモノガ現在市ニ舍マレテ入ッテ居ルノデアリマス、サウ云フ場合ニハ……其農村ガ負債整理ヲスル場合ニハ、名古屋ノ市ニ於テ整理資金ノ貸付ガ出來ルト云フコ

トニナルノデアリマス、別ニ負債整理組合ガ其市内デ以テノ農村部落ニ出來マスト云フト、市デ以テ政府資金ヲ借リテ來テ、サウシテ負債整理組合ニ貸付ケルト云フ形ニナルノデアリマス

○林平四郎君 サウスルト名古屋市ナラ名古屋市トセスト、ポンヤリ「市町村」ト書イテアルト一般ノ市ニ關係アルヤウニ思フ、私モ初メニサウ思、チ居リマシタガ、此ウチノ御説明デハ、其市ノ戸數割ノモノト云フ御説明デアル、又今ノ御説明ニ依ルト新シク出來タ市ノ中ノモノヲ取ルト云フコトデアリマスガ、此法文カラ見マスト、一般ノ全國ノ市ト皆見ラレルヤウニナリマスノデ、ドウモ其邊ガ了解シマセヌガ、何カ書キ様ガナイモノデアリマセウカ

○政府委員(小平權一君) 市内ニ負債整理組合ガ出來マスレバ、ドノ市デモ矢張リ之ニ該當スルコトニナルノデアリマス、別ニ市ハ限定シテ居リマセヌノデアリマス

○小林嘉平治君 私本日委員トシテ初メテ御伺ヒスルノデスガ、或ハ今日マデ質問ガ濟ンデ居ルカ知レマセヌガ、其時ニハ一ツ委員長カラ御注意ヲ願ヒタイノデアリマス、三十一條ニ付テ御尋ネスルノデアリマスガ、此損失審査會ト云フモノガ出來ルコ

トニナフテ居ルノデアリマスガ、何時モ斯ウ云フ法律ノ出ル時ニハ斯ウ云フヤウニナッテ居ルヤウニ承知シテ居ルノデアリマスガ、別ニ頂戴シマシタ此勅令又ハ命令事項ニ付キマシテ、ソレハ他ノ條文ニ對スルモノ該當スルモノハ此處ニ書イテナインデ、少シハフキリシマセヌ所ガアルノデ御尋ネスルノデアリマスガ、此審査會ノ權限ニ付テ御尋ヲ致スノデアリマスガ、大體此無限責任デ組合ガ組織サレル、斯ウ云フコトニナリマスト云フト事實問題トシテハ、殊ニ此組合ハ二十年間存續スルコトガ出來ルノデアリマスカラシテ、殆ド損失ト云フモノハ無シニ解決スルヤウナ氣持ガ致スノデアリマス、無限責任デアリマスカラシテ……デ結合局組合員ノ間ニ要スルニ義務ヲ怠ラヌ者ガアレバ、問題ハ解決スルノデヤナイカト思ヒマス、ソコデ何カ此審査會デ以テ我ミガ解釋シテ居ル所謂無限責任ト云フモノニ何カ手心ヲ加ヘラレルヤウナ權限ガ與ヘラレモノカ、是ハ私重要ナ點デアルト思フ、

○政府委員(小平權一君) 御尋ノ點ノ三十一条ノ補償審査會ト申シマスノハ、是ハ審査會ハ、政府ト道府縣市町村トノ關係ニ於テ決マフタ融通條件ニ基イテ起キタ損失審査會ハ、政府ト道府縣市町村トノ關係ニ於テ決マフタ融通條件ニ基イテ起キタ損失審査會ハ既ニ起キタ事實ニ付テ法シテ、此審査會ハ既ニ起キタ事實ニ付テ法令通リニ當嵌メテ、國家ガ補給スペキモノデアルカドウカラ決定スルダケデアリマス、ソコデ細カイモノヲ……如何ナル場合ニ之ヲ損失ト見ルベキカト云フヤウナ細カイ點ハ、貸付ノ條件ノ中ヘ入ルノデアリマス、第二十六條ニ「主務大臣ノ定ムル所ニ依リ特別融通ヲ爲スコトヲ得トアフテ、ソコデ主務大臣ガ非常ニ細カク、貸付ノ契約ノ中ニ斯クノ場合ニハ之ヲ損失ト見ルト云フ……緩和スルト云フヤウナコトハ考ヘテ居ラヌノデアリマスガ、併シ從來ノ金融取引上ニ於キマシテ、無限責任ノ信用組合、或ハ無限責任ノ社員ヲ持テ居ル會社關係ト云フ方面ニ於キマシテ、裁判上無限責任ガドレ位追求スペキモノデアルカ、或ハ又産業組合中央金庫等ニ於テ信用組合ノ中ノ無限責任組合ニ對スル取立ノ大體ノ慣例ガアルノデアリマス、サウ云フ從來ノ慣例ガ

トニナフテ居ルノデアリマスカ

○政府委員(小平權一君) 御尋ノ點ノ三十一条ノ補償審査會ハ何等手心ハ此審査會デ加ヘル權利ハゴザイマセヌノデアリマス、ト云フコトニ依テ、主務大臣ガ、此貸付ノ契約ヲスル場合ニ、如何ナルモノガ損失ト云フコトヲ詳細ニ極メルコトニナルカト云フコトヲ詳細ニ極メルコトニナルノデアリマス、其基準ニ依テ出來タモノニ付テ、審査會ガ果シテ其基準ガ該當スベキ損失デアルカドウカ、從テ國家ガ補給スペキモノデアルカドウカラカト云フコトヲ決定スルコトニナルノデアリマス

○小林嘉平治君 サウシマスト、所謂無限責任トハ言フガ、其處ニハ此第二十六條、二十八條ノ規定ニ依リマシテ餘程緩和サレル點ガ此處ニアルノデゴザイマスカ

○政府委員(小平權一君) 緩和サレルト云フ……緩和スルト云フヤウナコトハ考ヘテ居ラヌノデアリマスガ、併シ從來ノ金融取引上ニ於キマシテ、無限責任ノ信用組合、或ハ無限責任ノ社員ヲ持テ居ル會社關係ト云フ方面ニ於キマシテ、裁判上無限責任ガドレ位追求スペキモノデアルカ、或ハ又産業組合中央金庫等ニ於テ信用組合ノ中ノ無限責任組合ニ對スル取立ノ大體ノ慣例ガアルノデアリマス、サウ云フ從來ノ慣例ガ

モ十分斟酌イタシマシテ、市町村、道府縣等ノ損失ガ餘り起キナイヤウニ又從フテ國ノ補給ト云フモノモ成ルタケ少クスルヤウニ、併シソレガ爲ニ農家ヲ根コソギ全滅サシテシマフヤウナヤリ方ハ甚ダ無理デヤナイカト思ヒマス、其處ハ十分從來ノ特別融通ノ慣例モアリマスノデアリマスカラ、ソレ等ヲ斟酌イタシマシテ、最モ適當ナル基準ヲ決定イタシタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

ル譯デアリマセヌガ、併シ大體ノ見當ハ考  
ヘテ居ルノデアリマス、例ヘバ無限責任組  
合デアリマスレバ、是ハ特別融通ヲ受ケタ  
組合員ハ何處迄モ責任ヲ負ハナケレバナラ  
ヌノデアリマス、特別融通ヲ受ケタ組合員  
ガ相當は財産ガアリ、返サヌ場合ニハ強  
制處分サレルノデヤナカラウカト思フノデ  
アリマス、併シ負債整理組合ガ組合員カラ  
償還ガナクテ、從<sup>ツ</sup>テ負債整理組合トシテハ  
市町村ニ對シテ償還ガ期限迄ニ出來ナカッ  
タト云フ事實ガ此處ニ生ジタ場合ニ於テ直  
チニ之ヲ損失ニ見ルカト云フトサウデハア  
リマセヌ、負債整理組合トシマシテハ、積  
立金其他財産ヲ持<sup>フ</sup>テ居リマスレバ、先ヅソ  
レデ填補シテ、サウシテ一應市町村ニ償還  
スル、更ニ又負債整理組合トシテハ組合員  
ノ融通金ノ償還ヲ怠<sup>タ</sup>タ組合員ニ對シテ極  
力取立イタシマシテ、ドウシテモ、一定ノ期  
間ニ取立ガ出來ナイト云フヤウニナリマス  
ト、是ハ或ハ凶作トカ不可抗力デ以テ収益  
ガ殆ドナカ<sup>タ</sup>タヤウナ場合ニ起キルノデア  
ナイカト思ヒマスガ、其場合ニ於テハ負債  
リ無限責任ナリデ責任ヲ持<sup>フ</sup>テ居ルノデア

レデ市町村ト致シマシテハ、無限責任ノ負  
債整理組合ニ對シテハ、其組合員ノ持テ居  
ル財產ナリニ付テ一定限度ノ追求ヲ市町村  
トシテハ致サセタイト考ヘテ居リマス、組  
合員ガ全部破産スル迄ニ行クカト云フト、サ  
ウデハアリマセヌ、負債整理組合ノ組合員  
ガ一定限度ノ資金ヲ以テ償還スルダケニ、  
償還スル程度ニ市町村トシテハ負債整理組  
合ノ組合員ヲ追求シテ、請求シテ行クヤウ  
ニ致シタイト考ヘテ居リマス、サウシテ保證  
責任組合デアリマスレバ、出資ノ何分ノ保  
證金額ガアリマスカラ、其保證金額迄ハ組  
合員ヲシテ償還ヲセシメル、サウシテ一定  
ノ期間市町村デハ取立ヲ致シマシテ、ソレ  
デモドウシテモ損失ト云フコトニシナケレ  
バナラスト云フコトガ出テ來マスレバ、始  
メテソレヲ市町村ノ損失ト致シマシテ、道  
府縣ガ之ヲ補償シ更ニ國ガ補給スルト云フ  
コトヲ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス  
點デアリマス、尙ホ研究ヲ御積ミ下スフテ、  
○小林嘉平治君　一應ハソレデ諒解イタシ  
マシタガ、今御尋ネシタ點ハ、極ク重要ナ  
タシマス、ソレカラ今ノ審査會ト云フモノ  
一日モ早ク御發表下サルコトヲ切ニ御願イ

居ルヤウニ考ヘラレタノデアリマスガ、道府縣モ矢張リ之ニ類似シタモノガ置カレルノデゴザイマスカ、何故斯ウ云フコトヲ御尋不スルカト云フト、此全國ニ亘ルコトニ付テ、地方ノ實情ヲ餘程加味シテ審査シナケレバナラナイヤウニ、考フルノデアリマス、サウ云フコトハナイノデアリマスカ、中央ニ置カレルトシタナラバ、私ノ御尋不スルヤウナ意味ノ類似ノモノガ置カレルカドウカト云フコトヲ一ツ……

○政府委員(小平權一君) 特別融通損失審査會ト云フノハ、中央ニ一ツ置ク考デアリマス、府縣ニハ斯ウ云フ審査會ハ現在ノ所置カナイコトニ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ道府縣ニ於テ此貸付ヲスル場合ニ於テ色ミナ機關ノ手ヲ經テ特別融通ガ具體的ニ負債整理組合ニドノ位融通スルカト云フコトガ府縣トシテ見當ヲ付ケルデアラウト思ヒマス、其場合ニ於テハ或ハ現在各地方ニ農村漁村ノ經濟更生委員會ト云フモノガ設置サレテ居リマシテ、特ニ經濟更生ニ關スル特別ノ職員ヲ置イテ居リマス、更ニ今回追加豫算ニ計上シテ居リマスノデアリマスガ、負債整理ニ關スル特別ナ職員ガ各府

ニ關スル重要ナル事項ヲ決定スル爲ニ、必  
要ナラバ府縣デサウ云フ委員會ヲ使ハレル

コトモ妨げナイ譯デアリマシテ、ソレ等ノ  
點ハ十分實際ニ臨ンデ、適當ニ道府縣ト協  
議シテ、適切ニ施設ヲ致シタイト考ヘテ居  
ル次第デアリマス

○委員長(子爵野村益三君) 宜シウゴザイ

マスカ……附則ノ方ハ如何デスカ、若シ委  
員ノ方ミカラ御質疑ガナケレバ私一二點質  
疑ヲシテ見タイト思ヒマス、此施行ノ期日  
ハ勅令ヲ以テ定メラレル、成ルベク是ハ早  
ク御定メニナルコト思ヒマスガ、此法ヲ  
實行スル實際ノ道行ト云フモノハドウ云フ  
風ニナリマスカ、即チ昭和八年度内ニ於テ  
實現ノ豫定ヲ以テ進行サレルノデアリマス  
カ、其邊ヲ成ルベク分ルヤウニ御説明ヲ願  
ヒタイ

○政府委員(小平權一君) 農村負債整理組  
合法ガ幸ニ御協賛願ヒマシテ、議會ヲ通過  
シタ場合ニ於テハ、出來ルダケ速ニ此勅令  
事項、命令事項ヲ決定シテ行クヤウニ致シ  
タイト考ヘテ居リマスガ、現在ノ豫定デハ  
先ヅ八月下旬カ九月上旬位ニ施行イタシテ、  
實際ノ資金ノ融通ハ十月頃ニハ具體的ノ資  
金ノ融通方出來ルヤウニ致シタイト考ヘテ  
ル次第デアリマス

○小林嘉平治君 私共ノ考デハ、世間ニ或  
ハ二億圓ト云フ豫定ハ少イトカ、又此補償

金ノ額ニ付テモ、モウソット云フヤウナ  
議論モ隨分アルヤウデアリマス、是ハ私共  
見込デアリマスガ、斯ウ云フ窮屈ナ規定ノ  
下デハ、或ハ私モウ其金ガ餘ルノデヤナ

イカト云フ實際心持ガ致シテ居リマス、  
カト云フテ本案ヲ反對スルモノデハナイノ  
デアリマス、事實自力更生、隣保共助ノ精  
神デ必ズ組合ヲ組織スル所ガアルノデア  
リマスカラ、斯ウ云フ法律ノアルコトハ  
誠ニ結構デ喜ブノデアリマスガ、併シ

政府ガ果シテ此六千萬圓ノ犠牲ヲ拂ハレル  
コトノ御考ガアルノナラバ、モウソット此廣ク  
負債整理ノ精神ノ徹底スルヤウニ或ハ此六  
千萬圓ヲ補助シテモット低金利ノモノニ、預  
金部カラ出ルモノニ尙ホ補助シテ低金利ノ  
モノヲ貸ストカ、或ハ理想的ノ整理組合ニ  
對シテハ相當ノ援助ヲナスト云フコトノ方  
ガ事實問題トシテハ寧ロ適切デハナイカ知  
ラヌト云フヤウナ氣持ガ致スノデアリマ  
ス、政府當局ニ於テハサウ云フ點ニ付テ相  
當研究サレタ點ガアルノカドウカト云フコ  
トヲチヨット御伺シテ見タイ

○政府委員(小平權一君) 趣旨ノ徹底ヲ圖  
合合法ガ幸ニ御協賛願ヒマシテ、議會ヲ通過  
シタ場合ニ於テハ、出來ルダケ速ニ此勅令  
事項、命令事項ヲ決定シテ行クヤウニ致シ  
タイト考ヘテ居リマスガ、現在ノ豫定デハ  
先ヅ八月下旬カ九月上旬位ニ施行イタシテ、  
實際ノ資金ノ融通ハ十月頃ニハ具體的ノ資  
金ノ融通方出來ルヤウニ致シタイト考ヘテ  
ル次第デアリマス

思フノデアリマス、ソレハ現在農村、山村、  
漁村ノ經濟更正計畫ヲ毎年一千町村ヅツ具  
體的ニ樹立セシメ、約五六千ノ町村ニ及ボ  
シタイ、從テ第一年度昭和七年度ニ於テハ  
一千四百バカリノ町村ヲ設定イタシマシタ

ノデアリマス、其經濟更生計畫ノ中ニ必ず  
負債整理ノコトヲ慎重ニ考ヘルヤウニ各地  
方廳ニ訓令督勵ヲ致シテ居ルノデアリマ  
ス、出來ルダケ此法ノ精神ヲ理解スルヤウ  
ニ努メタイト考ヘテ居リマス、利子ノ補給  
其他ノ助成ノコトニ付キマシテハ、既ニ農  
林大臣カラ御答辯ヲ申上ゲタノデアリマ  
スガ、利子補給ノヤウナ制度ヲ執リマスト  
云フト、實際總テノ組合ガ皆一定ノ援助ヲ  
受ケルト云フコトニナリマシテ、財政上カ  
ラ申シマシテモ、今直ニ毎年相當多額ナ金  
額ヲ豫算ニ計上イタシマセヌト云フト、法  
ノ運用ガ出來マセヌノデアリマスカラ、其  
點ハ色ニ考ヘテ見マシタケレドモ、ドウモ  
財政ノ都合其他ノ點ニ於テ實行不可能ノ點  
ガアルノデアリマス、從テ補償ト云フコト  
デ行キタイト云フノデ此案ヲ立テタ次第デ  
アリマス

○委員長(子爵野村益三君) 御異議ガナケ  
マスカ……附則ノ方ハ如何デスカ、若シ委  
員ノ方ミカラ御質疑ガナケレバ私一二點質  
疑ヲシテ見タイト思ヒマス、此施行ノ期日  
ハ勅令ヲ以テ定メラレル、成ルベク是ハ早  
ク御定メニナルコト思ヒマスガ、此法ヲ  
實行スル實際ノ道行ト云フモノハドウ云フ  
風ニナリマスカ、即チ昭和八年度内ニ於テ  
實現ノ豫定ヲ以テ進行サレルノデアリマス  
カ、其邊ヲ成ルベク分ルヤウニ御説明ヲ願  
ヒタイ

○委員長(子爵野村益三君) ソレデハ左様  
ナコトニ致シマシテ、是デ散會イタシマス  
午後零時五分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵野村 益三君  
副委員長 男爵藤村 義朗君

委員 侯爵松平 康昌君  
伯爵黒木 三次君  
子爵片桐 貞央君  
子爵舟橋 清賢君  
水上長次郎君  
男爵平野 長祥君  
男爵足立 豊君  
山岡萬之助君

政府委員

農林省經濟更生部長 小平 権一君  
農林書記官 井野 碩哉君

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

マスカ

昭和八年三月二十三日印刷

昭和八年三月二十四日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局